

平和のために

鶴	ヶ	島	第	一	小	学	校		六	年		水	原		紬
---	---	---	---	---	---	---	---	--	---	---	--	---	---	--	---

[illegible]

一	九	四	五	年	八	月	六	日	八	時	十	五	分	、	人	類	で	初	
め	て	広	島	に	原	子	爆	弾	が	投	下	さ	れ	ま	し	た	。	爆	心
地	周	辺	の	温	度	は	三	千	度	〜	四	千	度	に	達	し	、	強	烈
な	熱	線	と	放	射	線	、	爆	風	に	よ	り	広	島	は	一	瞬	に	し
て	焼	野	原	に	な	り	ま	し	た	。	爆	心	地	か	ら	1.2	キ	ロ	
メ	ー	トル	で	は	、	そ	の	日	の	う	ち	に	五	十	パ	ー	セ	ン	
ト	が	亡	く	な	ら	れ	、	そ	れ	よ	り	も	爆	心	地	に	近	い	地
域	で	は	、	八	十	パ	ー	セ	ン	ト	か	ら	百	パ	ー	セ	ン	ト	

が亡くなられました。広島の川は死体であふ
れかえり、熱線の影響で皮膚が溶けて垂れ下
がった人や全身がふくれあがった人がたくさ
んいたそうです。私の遠い親戚は広島で被爆
しています。電車に乗っているときに突然、
ピカッという強い光が見え、大きな音と爆風
に襲われて気を失い、目が覚めたら広島の街
から煙がモクモク出ていたそうです。平和記
念式典では原爆が投下された八時十五分にな
った時、平和の鐘が鳴りました。ちょうど七
十九年前、自分がいる場所で原爆がさくれつ
し、普通に生活していた人たちがわけもわか
らず犠牲になったのだと考えると、とても悲
しくなりました。

平和記念資料館では、被爆者の遺品や被爆
した人の写真や絵を見ました。全身に血のつ
いた包帯を巻いている人、体全体が赤く膨れ
あがってしまっている人、治療を受けられず
傷口にうじ虫が湧いてしまっている人、その
様子は自分が思っていた戦争よりもずっと悲

惨で、衝撃的でした。無傷だと思われた人が放射線によつて、月日が経過してから、出血したり、白血球が減少したりといった症状が現れて亡くなった例もあります。そして、いまだに放射線による後遺症に苦しんでいる人がいるということも知りました。今ではなんでもSNSやYouTubeで情報を得られる時代で、私も戦争についての動画を見ていたので、資料館にある展示品を映像で見たことはありました。でも、動画で見る展示品と実際に見る展示品は全く違いました。最初は一緒に参加した友達と展示してあるもののこと話をしながら見学していましたが、原爆の被害のひどさや、被爆者の証言のリアルさに段々と話すことができなくなった程でした。

私は今まで、友達と遊べることや、お菓子が食べられること、SNSが見られることなどを「幸せ」だと思っていましたが、平和資料館や原爆ドームなどを見学し、平和に対する基準が変わりました。目の前で人が死ぬこ

とがなく、住む家があり、毎日ご飯が食べられる今の環境が「幸せ」なのだというところに気づきました。また、「自分が幸せならいい」「日本が幸せならいい」という考えではなく世界すべての人が幸せではないと平和とは呼べないと思いました。

平和記念式典の中の平和宣言で「自国の安全保障のためには核戦力の強化が必要だという考えをどう思われますか」と広島市長が言っていました。今は、核を持っていることで自分の国を他国から守っています。核を保有することは国同士がお互いに威嚇しあっている状態で、これは「平和」とは言えないと思います。だから、核戦力を強化する必要はないのではないかと思います。私が友達と仲良くなる時は、何かを隠したり、秘密を作ったりせず、明るく挨拶をしたり、相手の良いところを探したりします。国同士も同じですべての国が核爆弾を保有せず、みんながお互いの平和を守る気持ちで他国と接すれば世

か	界
。	中
	の
	人
	々
	が
	幸
	せ
	に
	な
	る
	の
	で
	は
	な
	い
	で
	し
	よ
	う

20 × 20